


9月29日 人権啓発講座

## 障がいをもつこと・生きること

岡原正幸さん（慶応大学  
准教授）のお話を聞きました。

身体や知的、精神的に障がいがあっても、自立して生きることを望むのは人間として当然の権利です。岡原さんは、  
 岡原正幸さん  
1985年に出版された著書「生の技法」の中で、「自立」を「脱施設」「脱家族」という言葉で表しました。常に他者がいないと自立生活ができないといわれる障がい者が、一人で暮らそうとする姿は、誰にとっても「生きる意味」を考えさせるものだといいます。近代社会が母親（女性）に求めた母性愛が象徴する「型にはめられたもの（家族・施設）からの脱出」は、自分で自分の欲求をかなえなければならない状態をつくり、自立のための多様な技法を生み出すのです。

人は他者との関わりの中で影響し合い、認め合い「生」を感じます。家族（母親）に抱え込ませない社会、より多くの人が出せるしくみへと制度をつくり直していきたいと思いました。

GEMカフェで のんびり・じっくり お話しましょ！

あなたも、お気軽にどうぞ

毎月、第2日曜日 午後1時半

集まっているんな話をしています・・・

～ リーブラの会議室で ～

時々、手芸やビデオ鑑賞なども・・・

ほっと一息、してください・・・ネ。

～ お茶代100円なり ～

今年度はDV支援地域ネットワークづくりに取り組んでいます！

9月4日に第1回地域ネットワークミーティングを開催しました

昨年、GEMは港区アシストプランの助成を受けて、港区や都内のDVに関係する官民の機関・個人など8か所に「民間団体に求める支援やニーズ」について聴き取り調査を行ないました。（※調査報告書を作成、6月のフォーラムで発表）

港区は都内で初めて「DV被害者の同行支援」を施策化しています（05年度）。DV被害女性の自立に向けた取組みは、GEMの重要な事業の一つです。私たちはGEMが信頼できる支援者となって活動するためには、身近な地域に官民連携でつくるネットワークが必要と考えました。

そこで今年は、各機関の担当者同士の信頼関係作りの第一歩となる地域ミーティング開催を提案、区や都・民間シェルター・弁護士・企業関係者なども参加して、第1回会議が実現しました。

積極的に市民やNPOを育てる港区、「何かしたい」と熱意ある企業、協力的な警察や都機関の姿勢は、DVを許さない連携の輪の広がりを実感させてくれました。第2回は12月7日開催です！

会員になって一緒に活動しませんか？

イベントや講座の企画、  
仲間づくり、フォーラム  
学習会への参加 etc

入会金：3000円  
年会費：3000円

お申し込みは T / F : 3472 - 5787まで

Eメール: gem-minato@kif.biglobe.ne.jp

H P : <http://sitegem.web.fc2.com>